



ハナムグリ

1、2019年度作業報告－4

1) Q・R地点

下写真はQ地点を北西から上流部分に向かって見たところです。Q・R地点は大規模な旧水田部分で植林されたスギが多くあり、作業前は完全に森林化していました（下左写真）。今回は、一部の木を残して伐採作業を行いました（下右写真）。抜根作業は行えませんでした、今後行うつもりです。



伐採作業前（2019年9月21日）



伐採作業後（2019年4月2日）

右写真はQ・R地点の上流部から下流を見たところです。石垣で区画された横長の大規模な水田が2～3段で画面左から右側に向かって低くなって続いています。また、手前が上流部で奥に向かって6段ほど続いています。

水路は画面には写っていませんが右と左の両側に水田を挟むように設置されて



伐採作業後上流から（2019年4月2日）

います。本来は高い位置にある左側の水路から右側の水田に向かって水が流れ込んでいたはずですが、現在は埋まってしまい右側の水田に水が入らなくなって乾燥気味です。画面の左側が乾燥気味で右側に行くにしたがって地表面に水が現われ湿地状態になっています。

右写真上はR地点の中央部にある旧水田で南の水路から北の水路側を見たところ。手前が乾燥気味で、奥が一段低くなり一部で地表面に水が見えています。

右写真中はR地点北側で下流から上流部を見たところ。旧水田の北側を流れる水路は水量が多く旧水田面を蛇行しながら流れています。この北側は小さな区画が上流から下流に向かって連続しており、水量が多く良好な湿地になると予想しているところです。昨年度の作業では、この部分の日照を確保するために画面右側の旧水田部分の木をできる限り伐るようしました。

右写真下はR地点北側で上流から下流部を見たところ。水量が多く画面の下流では旧水田面を蛇行しながら水が流れています。画面手前では水路沿いにハンカイソウやミカワバイケイソウが発芽しています。特にハンカイソウは個体数が増えています。

3) P地点の仮置きした根の山

P地点には2018年度の作業で仮置きした木の根の山がありました。根の山からミカワバイケイソウ、ハルリンドウ等の湿生植物が発芽したので、湿地に移植しました。この根の山は水田造成時



P地点中央部伐採作業後（2020年4月2日）



P地点北側伐採作業後（2020年4月2日）



P地点上流部北側伐採作業後（2020年4月2日）



P 地点仮置きした根の山除去前（2019 年 8 月 15 日）



P 地点仮置きした根の山除去後（2020 年 2 月 27 日）

に造られた水路に沿って仮置きしたのですが、この部分は水分が多く湿地に戻りそうなところであることが分かりました。そこで、今回の作業でX地点に移動させました。下写真のバックホーが写っているところです。木の根があったところからは多くの湿生植物が発芽してくると予想しています。

3) P・F 地点水路

P 地点と F 地点の境には水田のための水路が造られていました。この水路は幅が狭く、大雨が降って大量の水が流れると下刻されて少しずつ深くなっていました。そこで、これ以上の下刻を防ぐために、水路に3か所堰を造りました。水路周辺には拳大から人頭大の大きさのチャートの礫がたくさんあります。このチャートの礫を使って3本の土手を造り上流側の2本の土手を土で埋めさらに、2018年の作業で剥ぎ取って湿地の縁に仮置きしていたミズゴケで土手の上流部分を埋めました。右写真上が



P・F 地点水路、礫の土手構築後（2020 年 2 月 26 日）



P・F 地点水路ミズゴケ充填後（2020 年 2 月 27 日）

礫で土手を造ったところ、中がミズゴケで埋めたところでは、ここで一旦水を貯め、両側に溢れさせて地下水位を上げるようにします。

右写真上はミズゴケで埋めた後に水が溜まっているところです。剥ぎ取ったミズゴケの中には湿生植物の埋土種子が多く含まれていることが確認できていますので、今後、ここから様々な湿生植物が発芽してくると予想しています。



P・F地点水路ミズゴケ充填後（2020年4月2日）

2、多米小学校

3年生の課外授業

豊橋市立多米小学校3年生の生徒138名が2月3日に課外授業で、葦毛湿原の植生回復作業のお手伝いをしてくれました。Q・R地点で地面に溜まっている落ち葉や枝を集めて運び出す作業（右写真中）です。

4クラスで人数が多いので作業する班と葦毛湿原を観察する班の二つの班に分かれて行いました。

木を伐った後には地表面に大量の細かい枝や葉が堆積していました。大勢での作業で大半は除去することができました。これから多くの植物が発芽してくると思われます。

これまでも多米小学校では3年生の郷土の時間で葦毛湿原の見学を行ってきましたが、植生回復作業への参加は今回が初めてでした。



R地点での植生回復作業（2020年2月4日）



葦毛湿原の見学（2020年2月4日）